

NPO 自立支援センター ふるさとの会

2005.9.20
【第6号】



これはHTML形式のMAILです。オンラインで無い場合は画像が表示されない可能性があります。

[HOMEPAGE](#)

[SCHEDULE](#)

[EVENTetc](#)

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

- 1.10月9日(日) 山谷発「Live」
- 2.10月10日(月・体育の日) 第12回 ふるさとの会シンポジウム
- 3.9.3シンポジウム「Housing Firstと社会参入(地域での支え合い)」に190人が参加!
- 4.10月1日、自立援助ホーム「ふるさとホテル三晃」がオープン!

1.10月9日(日) 山谷発「Live」

「ふるさとの会」と「ぽやぽやバンド」が会ってあしかけ15年。それを記念し交流会を行うこととなりました。「小原哲次郎カルテット」、「辻田浩之(和太鼓)」、「森丹山(尺八)」といったスペシャルゲストも招きライブを開催いたします。ぜひご来場下さい。

<日時>

10月9日(日) 13時半開場 14時開演

<場所>

浅草5656会館 5階ときわホール(台東区浅草3-6-1 浅草寺病院前)

<入場料>

無料・・・参加希望の方は整理券をお渡しますので、事前に 03-5819-3256 までご連絡下さい

2.10月10日(月・体育の日) 第12回 ふるさとの会シンポジウム

平成17年度より生活保護制度において、ホームレスの自立支援を「就労自立」だけでなく、「日常生活自立」や「社会生活自立」などそれぞれの能力やニーズに応じた「多様な自立」を図ろうという目的のもと「自立支援プログラム」の導入が推進されることになりました。「ホームレスの人権擁護」にきちんと政府が予算をつけたという意味では画期的な「ホームレス自立支援法」の発展的なものと捉えることのできる「自立支援プログラム」ではありますが、やり方次第では、ヨーロッパにおける「ワークフェア」のような危うさを抱えているのも事実でしょう。ホームレスの自立支援を長年展開してきたNPOとして、この「自立支援プログラム」にどのように向かうべきなのかについて議論を深めていく予定です。

<日時>

10月10日(月・体育の日) 13時開場 13時半開始(～17時終了予定)

<場所>

サンパール荒川ホール(荒川区荒川1-1-1)
都電荒川区役所前、地下鉄日比谷線三ノ輪駅下車徒歩10分

<入場料>

1,000円(資料代込み)

<タイトル>

自立支援プログラムとソーシャルインクルージョン

<コーディネーター>

山岡 義典(日本NPOセンター副代表・法政大学教授)

<基調講演>

布川 日佐史(静岡大学人文学部教授・労働経済論、2003年8月～2004年12月まで社会保障審議会福祉部会生活保護制度のあり方に関する専門委員会委員を務める)

<パネリスト>

稲生 久雄 (東京都福祉保健局生活福祉部指導課指導係長、自立支援プログラム担当)
笠井 和明 (NPO法人新宿ホームレス支援機構事務局次長)
野々村 泰道 (元中野区福祉事務所ケースワーカー)
水田 恵 (NPO法人自立支援センターふるさとの会代表理事)

3.9.3シンポジウム「Housing Firstと社会参入(地域での支え合い)」に190人が参加!

9月3日、東京池袋の東京芸術劇場大会議室にて開催したシンポジウムには、全国から大勢の方々にお集まりいただきました。ホームレス地域生活移行支援事業への関心の高さを改めて感じました。昨年に引き続いて、新宿ホームレス支援機構とふるさとの会の共催によるシンポジウムということもあり、各方面の専門家の方々の姿もあり、会が始まる前、終了後には、あちこちで名刺を交換される光景が見受けられました。

前半は、東京福祉士会の戸田さん、やまて企業の新津さん、有隣協会の山本さん、地主家主協会の山田さん、東京福祉会の濱口さん、ふるさとの会の石神、コスモスの武笠さんがそれぞれ事業報告を行いました。後半は、新宿福祉事務所の犬野氏、ふるさとの会の水田、東京都の池田氏、新宿支援機構の笠井氏が、それぞれ意見を述べた後、報告者を交えたパネルディスカッションを行いました。会場からの質問もあり、また大阪市大の水内先生からの報告もあって、充実したシンポジウムとなりました。

移行支援事業を巡る過去の論議にはほぼげりがつき、文字通り地域でいかに包括的なサポート体制をつくるのか、ということにテーマが移行したのは明らかになったと思います。

懇親会では、東京都の池田さんへの大きな拍手がおこり、「お疲れ様」のねぎらいの言葉に池田さんは「感無量」の面持ちでした。

4.10月1日、自立援助ホーム「ふるさとホテル三晃」がオープン!

ついに、念願の「ドヤ」(簡易宿所)を手に入れました。ふるさとの会は、新しい「ドヤ経営」の方式と新しいサービスを提案しています。自立援助ホームというのは、社会的入院の元山谷の仲間のみなさんに「ふるさと」山谷に帰ってきてもらうために「自立援助ホーム」という新しいサービス(ケアつきの住まい)を開始したいと考えています。この全く新しい方式の「ドヤ経営」は既存の簡易宿所と競合するものではなく、ケースによって「すみわけ」しようというものです。こうした新しい形の「サービス競争」こそ、山谷の町をもう一度元気な町に作りかえる力になるものと信じております。どうか、ご支援をお願いします。

発行元: 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会
〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6
TEL: 03-3876-8150 FAX: 03-3876-7950